

原付ライダーのみなさんへ

危険を讀め！ 死角を消せ！



企画意図

原付バイクの死亡事故が後を絶ちません。原付バイクは気軽に乗れる便利な乗り物として人気があります。しかし、乗り方を誤ると命を落としかねない重大事故へとつながるのです。原付バイク死亡事故の調査によると6割近くが対四輪車との事故です。原付バイクは小さい乗り物であるため、四輪車などの死角になりやすいのです。そのため、相手をよく見ること、そして相手から、よく見られる運転が重要です。

そこで、この作品では、原付バイクと四輪車の最も多い事故例を示しながら、女性ライダーレポーターに出演してもらい、原付バイクが事故に遭わないためには、どのようなことに気をつければよいのか、実際に様々な交通場面を走行しながら安全運転のポイントを描いていく内容となっています。

映学社作品

作品の概要

■原付バイク死亡事故の相手は6割が四輪車

統計によると、原付バイク死亡事故の相手は、6割近く四輪車が占めている。原付バイクと四輪車の事故は、交差点とその付近で多く発生している。では、どのような事故が最も多いのだろうか。

■交差点で多く発生する事故

信号機のある交差点で起きた原付バイクと右折四輪車との事故。再現映像により、様々な角度から、事故の詳細を検証していく。

- ・原付ライダーの視点で捉えた事故の瞬間…
- ・四輪ドライバーの視点で捉えた事故の瞬間…

検証すると事故を起こす寸前まで、お互いに確認できなかったことがわかる。

次に信号機のない交差点で起きた四輪車と原付バイクの出合頭事故。この事故は、交通量の少ない交差点に油断して、原付バイクが一時停止せず、安全確認を怠ったことが原因で起きていた。

信号のない小さな交差点においても、常に一時停止、安全確認が不可欠だ。

■原付バイクの特性を知る

原付バイクは小さいため、四輪ドライバーの死角に入りやすい。更に四輪車のバックミラーに映る原付バイクは、非常に距離を判断しづらく、実際よりも遠くを走っていると錯覚しやすい。

このような原付バイクの特性を知り、自分が相手から、どう見られているかを意識することが、事故を防ぐ第一の手立てとなる。

■交差点事故を防ぐポイント

レポーターが事故を防ぐ正しい走行で、安全ポイントを一つ一つ確認しながら、前出の交差点を安全に通過していく。

- ・信号機のある交差点では…
- ・信号機のない交差点では…

■常に危険予測と安全確認

事故を防ぐためには常に危険予測と安全確認が必要である。ここでは様々なケースでの危険予測

について質問形式で検証していく。

- ・交差点付近で前方に渋滞車両の途切れがある場合は？
- ・前方に駐車している車がいる場合は？
- ・前方に駐車場に入るための対向車がいる場合…

■カーブの正しい走り方

カーブでの事故の大半はスピードの出し過ぎによる転倒や反対車線への飛び出しだ。

カーブでの事故を防ぐ正しい走行について、レポーターに実演してもらい、わかり易く解説する。

■夜の危険予測を身につける

ドライビングレコーダーが捉えた、右折タクシーと原付バイクの事故の瞬間——。夜間では原付バイクは、更に四輪車から見えづらく、事故になるケースが増えてくる。

ここでは夜間走行に特に必要な危険予測と安全確認のポイントについて詳しく検証する。

■事故を起こした時の責任

原付バイクだからといって被害者になるケースばかりではない。ここでは万が一、人をはねてしまった時、加害者となってしまった時の対処法についても学んでいく。

文部科学省選定

推 薦 財団法人 全日本交通安全協会
 製作統括・監督 高木 裕己
 撮 影 松尾 研一
 選 曲 YOKA
 助 監 督 岡 元太／江田 剛士
 レポーター 柴田 奈緒美
 制作・著作 株式会社映学社

■ ¥65,000円+税

■ DVD [カラー約18分]

■ 2010年・映学社作品



〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目7番8号らんざん5ビル
 TEL: 03-3359-9729 (代表) FAX: 03-3359-4024
<http://www.eigakusya.co.jp/>

●お問い合わせ、お買い上げは……